

# 第9回栃木活性化サロン テーマ「人手不足の状況と人材確保政策」 ～高度外国人材の活用について～

◇ 令和元年11月21日開催

◇ ゲストスピーカー 日本貿易振興機構（JETRO） 栃木貿易情報センター 所長 川崎 美奈子 氏

「グローバル人材の活用について」

## 1. 海外ビジネスの拡大とグローバル人材

【日本企業の海外ビジネスの課題】

海外ビジネスに取り組もうという企業では社長の片腕となって輸出の実務をこなしたり、海外進出の現法経営に携わる人材などの「海外ビジネスを担う人材」がいないことが課題となっている。

海外展開を考える中小企業に実施したアンケートでは、約6割の中小企業が外国人を雇用もしくは採用を検討している。

【高度外国人材について】

《3つの要件》

「学歴」: 大学卒程度以上であること。

「職種」: 研究者やエンジニア等の専門職、海外進出等を担当する営業職などのホワイトカラーにあたる業務内容であること。

「在留資格」: 「専門的・技術的分野」での就労である人。

政府は海外の優秀な人材の呼び込み促進の施策として2012年5月より「高度人材ポイント制」を設けており、一定得点以上に達した者は在留にあたって様々な優遇措置を受けられる。

高度外国人材の卵である外国人留学生は、2018年5月1日時点で留学生は298,980人。このうちアジア地域の留学生が93.4%。

⇒ 日本での就職を希望する留学生が6割いる一方、実際に就職をしている割合は3割程度にとどまっており、このフォローが課題。

## 2. 高度外国人材活躍推進プラットフォームについて

政府の未来投資戦略2018に基づき、各省庁の取り組みの情報を一元化し、連携を図る「高度外国人材活躍推進プラットフォーム」をJETROに設置。

【具体的な取り組み】

《高度外国人材活躍推進ポータルサイト》

中堅・中小企業による高度外国人材の採用・定着を支援するため、関係省庁から情報を集約した段階別の情報や公的機関のイベント。情報を集約したイベントカレンダー、企業情報の掲載など、高度外国人材の関連情報をまとめたサイトをJETRO Web上に開設。

《コーディネーターによる伴奏型支援サービス》

2019年4月より、JETROに「コーディネーター」を配備し、個別企業への継続的なフォローを図る「伴走型支援」の提供を開始。

・ 海外展開を目指す中堅・中小企業の高度外国人材の受け入れを、JETROの専門相談員が寄り添いながら一貫支援。

・ 各社の現状と目標を把握し、採用・育成・定着への活動計画（ロードマップ）にそって、高度外国人材活用を支援。